



# 東京都立 戸山高等学校

■学校長／櫛野 治和  
■創 立／明治21年  
■生徒数／962名(男502名、女460名)

## 沿革

明治21年創立の伝統校。東京府立第四中学校から昭和25年に東京都立戸山高等学校と改称。平成13年に東京都の進学指導重点校に指定され、平成16年から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定。

## 特色ある教育

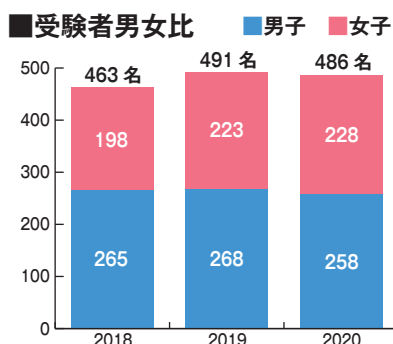
戸山高校が目指しているのは国際社会に貢献するトップリーダーの育成です。本校ではあえて文理別のクラス編成をせず、総合力を重視した教育を行っています。国際社会で求められるのは、文系の知識を持った理系の人間、理系のセンスを持った文系の人間だと考えているからです。本校の特色であるSSH事業は、文系・理系を問わず、皆さんが将来国際社会で活躍する資質・能力を磨く一助となることでしょう。また、国公立大学医学部を志望する生徒を支援するプログラムであるチームメディカルも28年度からスタートしました。

戸山の校風は自主自立と言われますが、決して放任主義ではありません。細かい規則はありませんが、必要な時は厳しい指導も行います。1・2年段階では一日3時間以上の自主学習を求め、部活動や学校行事でも、短時間で質の高い活動ができるよう、自主的・主体的な取り組みを求めます。戸山には、府立四中以来の質実剛健の伝統が、今でも息づいているのです。

## 学校行事

- 【5月】 運動会
- 【6月】 戸山・新宿対抗戦
- 【9月】 戸山祭(文化祭)
- 【10月】 ホームルーム合宿(1年)
- 【11月】 城ヶ島地学巡検(1年)
- 【3月】 修学旅行(2年)

## 過去入試データ



入試結果のデータ一覧（応募・受験・合格）															
年度	募集者数			応募者数			受験者数			合格者数			実質倍率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2018	132	122	254	316	217	533	265	198	463	137	126	263	1.93	1.57	1.76
2019	132	121	253	331	244	575	268	223	491	137	125	262	1.96	1.78	1.87
2020	132	122	254	328	254	582	258	228	486	136	125	261	1.90	1.82	1.86

※上記は一般入試の数値です。



校舎写真▲



MAP▲

## 交通

東京メトロ副都心線西早稲田駅より徒歩1分。JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線高田馬場駅戸山口より徒歩12分。

## ▶ 入学者決定方法（2020年度）

### 推薦入試（定員の20%）

募集定員	配点	
男子32名	調査書点 5段階×9教科× $\frac{400}{45}$	400点
女子30名	集団討論・個人面接点	200点
合計62名	小論文点	200点
合計		800点

### 一般入試（定員の80%）

募集定員	配点	
男子132名	学力検査100点×5教科× $\frac{700}{500}$	700点
女子122名	調査書点(主要5教科+技能4教科×2)× $\frac{300}{65}$	300点
合計254名	合計	1000点

## ▶ 2020年度 入試問題分析

**英語** 大問数3題、小問数28問、長文の単語数は②約1400語、③約1000語であった。例年③は理科に関する説明文であったが、昨年度に芸術分野からの出題となり、今年度は社会分野からの出題となった。代わりに②の対話文が理科に関する内容となった。また、英作文がグラフの読み取り問題へと変化した。

大問別にみると、②の対話文は設問数が6問で小問数が15問。動物の睡眠に関する問題で、理科分野であった。昨年度同様、問題文の分量が多いためスピードが求められた。③の説明文は、設問数が7問で小問数が8問。ある地域の街並みの変化に関する問題で、社会分野の説明文であった。問題文は昨年度より少なくなったが、川や場所の名前がたくさん出てくるため、整理しながら読み進めていかないと解けない問題であった。また、英作文はグラフを読み取って書く内容に変わった。グラフは本文に關係する資料ではあるが、そのグラフを見ただけで書ける内容であった。

問題文の分量が多いので、速く解く練習をする必要がある。そのため、設問を先に目を通したうえで1回目の読みで問題を解いていく訓練が必要になる。また英作文は、グラフから読み取って書く練習をする必要がある。

**数学** 大問4題、小問15問であり、昨年度と比べると小問が1問増えた。作図問題が1問、証明問題が1問、途中の過程を書かせる問題が2問出題されており、ここは昨年度通りであった。本年度は④にグラフを書かせる問題が出題され、昨年度までにはない問題だったが落ち着いて解けば正解できる問題であった。①は作図を含む計算小問5問であり、この25点は得点源にしたい。②は関数からの出題で、小問は3問。昨年度と比べて難度はさほど変わらなかった。③は昨年度同様、円と三角形の問題が出題された。昨年度は三角形の相似の証明であったが、本年は三角形の合同の証明であった。④は立方体の辺上を4点が移動する問題であった。前述の通り、点が移動したときの時間と距離の關係を表すグラフを書かせる問題が出ている。昨年度は三角柱の辺上を3点が移動する問題が出題されており、似たパターンの問題と言える。全体として、証明問題を含め記述をさせる問題が3問あり、ここは部分点でも取っておきたいため、必ず書くようにしたい。

**国語** 例年と変わらず、大問5題で、小問28問だった。①（読み）、②（書き）ともに1問ずつ出題された四字熟語は難度が高かった。③菊池寛『名君』。時代小説だが、登場人物の数も、文章量も少ない。小問6問のうち記述は例年どおり1問で30字以上40字以内。内容は、心情把握が5問で、描写からよりも場面の状況から推測できるものなので容易だったと言えるだろう。④大澤真幸『社会学史』。例年通り哲学系で、ギリシャ哲学に関する文章である。小問は記述1問、抜き出し1問、記号選択4問、200字作文が付随。記述問題は指示内容を答えるもので、抜き出しとともに容易だった。選択問題も、傍線部を言い換えた選択肢を選ぶのでキーワードをチェックすれば正答にたどり着け、これも難解ではなかったはずである。特筆すべきは作文で、A～Eの代弁者の意見を「参考」にしてよい形式になった。⑤鈴木宏子『「古今和歌集」の創造力』出典。『古今和歌集』の歌人在原業平の和歌について、古文、和歌の引用とその現代語訳、その他の地の文という、典型的な鑑賞文形式である。小問は抜き出し1問、漢字の意味1問、内容把握3問。問題を解く際、和歌の鑑賞そのものではなく、鑑賞文中の答えを探すという普通の「説明文読解」をすれば何とか解ける問題である。

## ▶ 2020年度 大学合格実績

実績数値は現役・浪人の合計数。（ ）の数字は現役合格者の数。

東京大 12名(9名)	東北大 9名(6名)	千葉大 13名(10名)	早稲田大 85名(58名)	青山学院大 19名(15名)
京都大 8名(5名)	名古屋大 3名(1名)	東京農工大 10名(9名)	慶應義塾大 48名(35名)	立教大 40名(33名)
東京工業大 5名(4名)	大阪大 2名(1名)	お茶の水女子大 5名(3名)	上智大 20名(17名)	中央大 48名(37名)
一橋大 10名(7名)	筑波大 6名(4名)	東京外語大 11名(10名)	東京理科大 73名(54名)	法政大 52名(35名)
北海道大 12名(6名)	横浜国立大 16名(14名)	東京都立大 10名(10名)	明治大 103名(77名)	学習院大 15名(12名)
国公立大合計 183名(139名)				